

『第59回 日本学生科学賞県審査結果』

「日本学生科学賞」は、中学校と高等学校の生徒を対象とした科学自由研究コンクールです。未来の優秀な科学者を生み出すことを目的として1957年（昭和32年）に創設され、伝統と権威をもっています。

今年度は、県内から中学校1点、高等学校4点の応募がありました。来年度は、中学校、高等学校ともに今年度以上の応募を期待しています。応募に関する詳細は、[日本学生科学賞のホームページ](#)をご覧ください。



今年度の長崎県審査の結果は以下の通りです。

中学校の部 《応募作品数 1点》

- ◆ 最優秀賞 該当作品なし
- ◆ 優秀賞 該当作品なし
- ◆ 佳作 1点



	作品名	学校名	学年・団体・氏名
佳作	タマネギとニンニクの根の成長	県立 長崎東中学校	3年 坂本 茉優

高等学校の部 《応募作品数 4点》

- ◆ 最優秀賞 該当作品なし
- ◆ 優秀賞 該当作品なし
- ◆ 佳作 3点



	作品名	学校名	学年・団体・氏名
佳作	「和音」の振動数分析	県立 長崎北陽台高等学校	合唱倍音研究チーム(3名) 代表 3年 四谷 成子
佳作	家庭におけるバイオコークス製造	県立 諫早高等学校	2年 浅香 智輝
佳作	温泉水を利用した椎茸菌床栽培法	県立 島原農業高等学校	食品加工部(21名) 代表 3年 細波 雄樹